



報道関係者 各位

東京で働くビジネスパーソンの夏バテに関する調査 2021

養命酒製造株式会社は、「東京で働くビジネスパーソンの夏バテ」というテーマで、インターネット調査を2021年6月25日～6月30日の6日間で行い、一都三県在住で、東京都で働く30歳以上のビジネスパーソン1,000名の有効回答を回収しました。(調査協力会社：ネットエイジア株式会社)

コロナ禍により生活環境や労働環境が大きく様変わりし、夏バテ対策と感染症対策がともに求められる今年の夏、東京で働くビジネスパーソンには、夏本番を前にすでに夏バテを感じている人がいるのではないのでしょうか。養命酒製造株式会社では、日本経済の中心地である東京で働くビジネスパーソンの夏バテについて実態を探りました。

【東京で働くビジネスパーソンの夏バテ実態】

東京で働くビジネスパーソンの6割が“夏バテさん”、30代・40代女性では7割半と突出
東京で働くビジネスパーソンの3割強が“こころの夏バテ”に悩む、30代女性では5割強

夏バテ4大症状 「ダルい」「疲れやすい」「疲れがとれない」「肩こり・腰痛」

60代以上女性の夏バテ症状では「肩こり・腰痛」が最多

冷えや自律神経の乱れにつながる生活習慣や日常の過ごし方が夏バテリスクを高める？

夏バテさんの3割半が「冷たいものばかり飲む」「人がいない場所でもマスクを着用」、
約3割が「クーラーがきいた部屋に長時間いる」「夜更かし」「休日は家でダラダラ」

夏バテのイライラを倍増させる家族の振る舞い

TOP3「ものを片づけない」「電気をつけっぱなしにする」「ダラダラしている」

夏バテのイライラを倍増させるテレワークでの振る舞い

TOP3「業務時間問わず連絡」「都合を聞かずオンライン会議設定」「オンライン会議に遅刻」

夏バテだけじゃない！今年の夏に流行すると思う“バテ”

TOP5「マスクバテ」「自粛バテ」「除菌バテ」「テレワークバテ」「オンライン会議バテ」

テレワークをしたい避暑地 「軽井沢」がダントツ、2位「上高地」

【東京で働くビジネスパーソンの夏バテ対策】

東京で働くビジネスパーソンの8割半が夏バテ対策に取り組む、60代以上の男女では約9割

夏バテ対策ランキング TOP3「水分補給」「しっかり睡眠」「エアコン温度を適温にキープ」

60代以上女性は「バランスの良い食事をとる」「夏野菜たっぷりの料理を食べる」も実践中

今年の夏に食べたい“夏バテ解消グルメ”

TOP5「ウナギの蒲焼」「焼肉」「夏野菜のカレー」「冷しゃぶ」「豚の生姜焼き」

50代以上男性では1位「ウナギの蒲焼」、50代以上女性では1位「夏野菜のカレー」

【夏バテとエンタメ】

夏バテ解消料理を作ってほしい！

男性芸能人1位「速水もこみちさん」、女性芸能人1位「平野レミさん」

夏バテを知略で乗り越えそうな戦国武将 TOP2「信長」「家康」、上位に真田昌幸・信繁親子

夏バテを忘れるくらいハマった昭和のアニメ・漫画

1位「ドラゴンボール」2位「巨人の星」3位「機動戦士ガンダム」

夏バテを忘れるくらいハマった平成・令和のアニメ・漫画

1位「鬼滅の刃」2位「ONE PIECE」3位「名探偵コナン」

アンケート総括

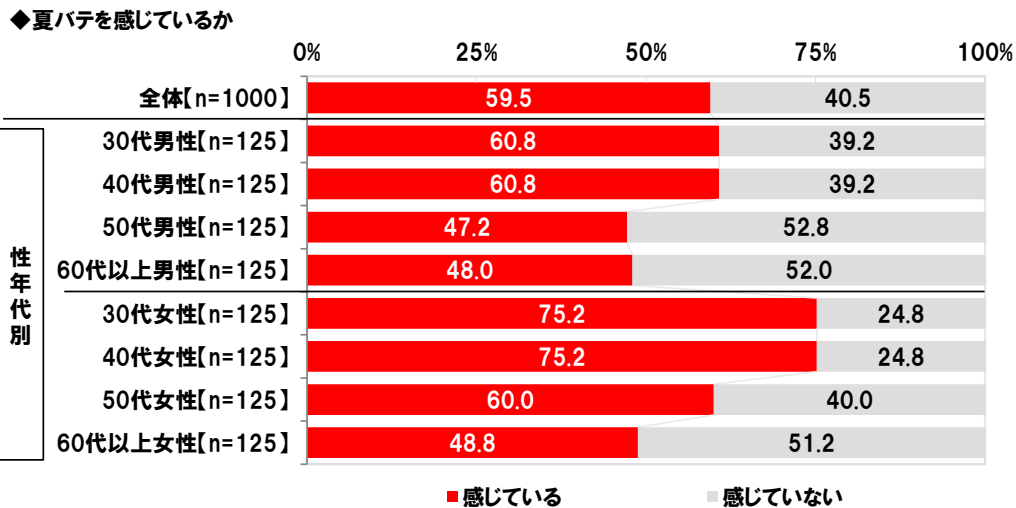
【東京で働くビジネスパーソンの夏バテ実態】

- ◆東京で働くビジネスパーソンの6割が“夏バテさん”、30代・40代女性では7割半と突出
- ◆東京で働くビジネスパーソンの3割強が“こころの夏バテ”に悩む、30代女性では5割強

一都三県在住で、東京都で働く30歳以上のビジネスパーソン1,000名（全回答者）に、今年の夏バテ実態について質問しました。

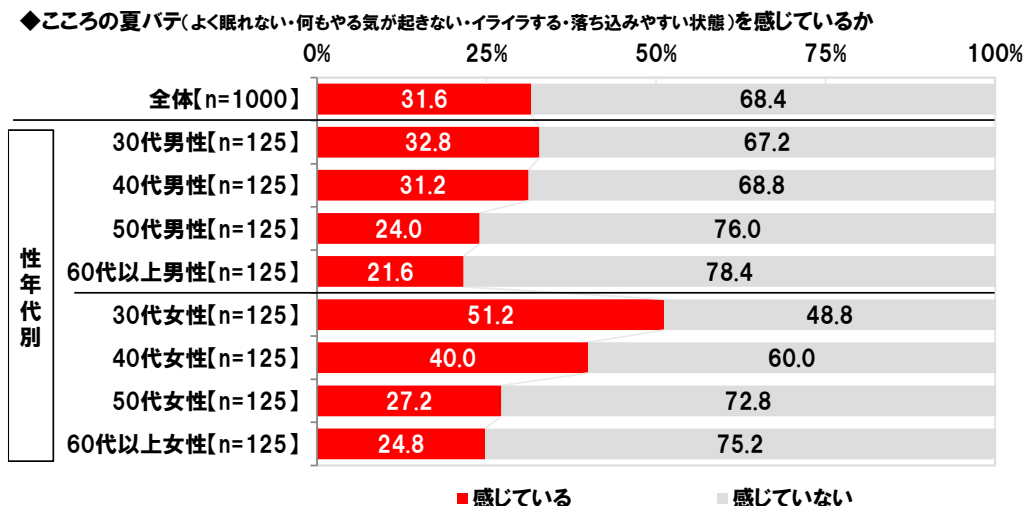
まず、全回答者（1,000名）に、夏バテを感じているか聞いたところ、「感じている」は59.5%、「感じていない」は40.5%となりました。夏本番を迎えようとするところで、東京で働くビジネスパーソンの多くが、すでに夏バテを感じているようです。

夏バテを感じている人の割合を性年代別にみると、30代女性と40代女性（いずれも75.2%）が突出して高くなりました。



また、こころの夏バテ（よく眠れない・何もやる気が起きない・イライラする・落ち込みやすい状態）を感じているか聞いたところ、「感じている」は31.6%、「感じていない」は68.4%となりました。夏の暑さのためこころの不調を感じている人は少なくないようです。

こころの夏バテを感じている人の割合を性年代別にみると、30代女性（51.2%）が特に高く、半数を超えました。



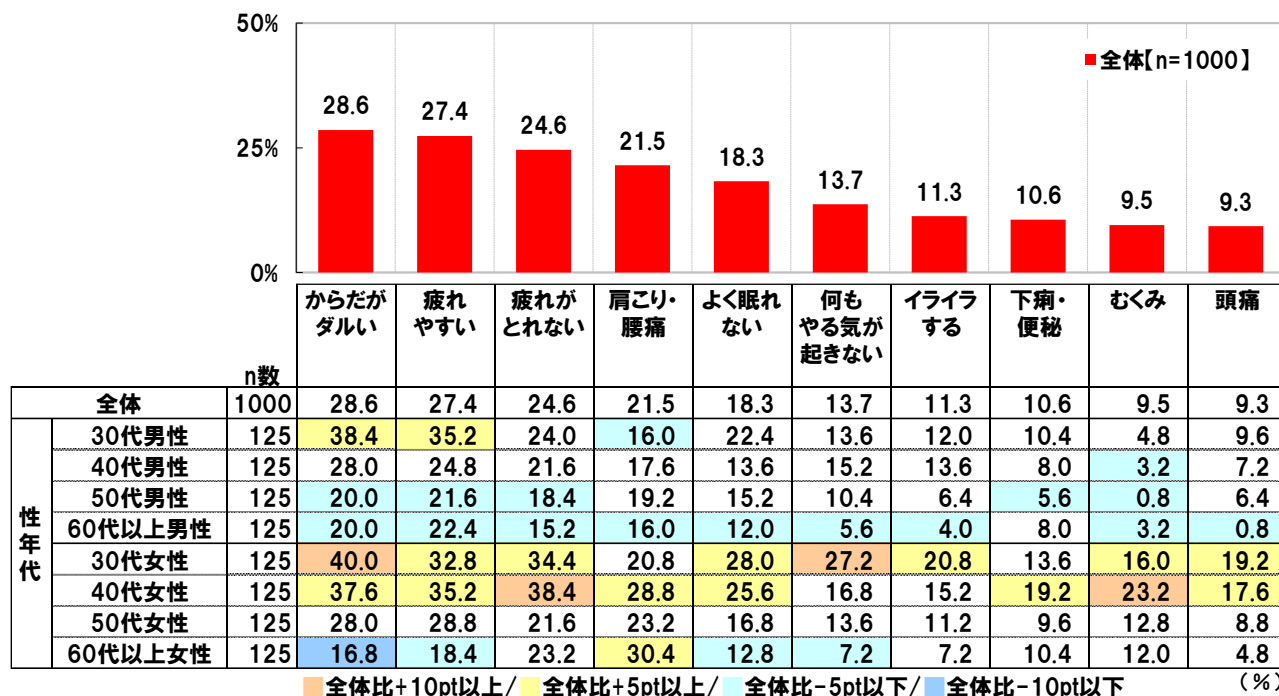
◆夏バテ4大症状 「ダルい」「疲れやすい」「疲れがとれない」「肩こり・腰痛」
60代以上女性の夏バテ症状では「肩こり・腰痛」が最多

どのような夏バテ症状を感じている人が多いのでしょうか。

全回答者（1,000名）に、実感している夏バテの症状を聞いたところ、「からだがダルい」（28.6%）が最も高く、次いで、「疲れやすい」（27.4%）、「疲れがとれない」（24.6%）、「肩こり・腰痛」（21.5%）となりました。倦怠感や疲労感に悩まされている人が多いようです。そのほか、「よく眠れない」（18.3%）、「何もやる気が起きない」（13.7%）、「イライラする」（11.3%）など、“こころの夏バテ”にあてはまる症状も上位に挙がりました。

性年代別にみると、60代以上女性では「肩こり・腰痛」（30.4%）が夏バテ症状として最多となり、他の層と比べて高くなりました。

◆実感している夏バテの症状【複数回答形式】 ※上位10位までを抜粋



◆**冷えや自律神経の乱れにつながる生活習慣や日常の過ごし方が夏バテリスクを高める？
夏バテさんの3割半が「冷たいものばかり飲む」「人がいない場所でもマスクを着用」、
約3割が「クーラーがきいた部屋に長時間いる」「夜更かし」「休日は家でダラダラ」**

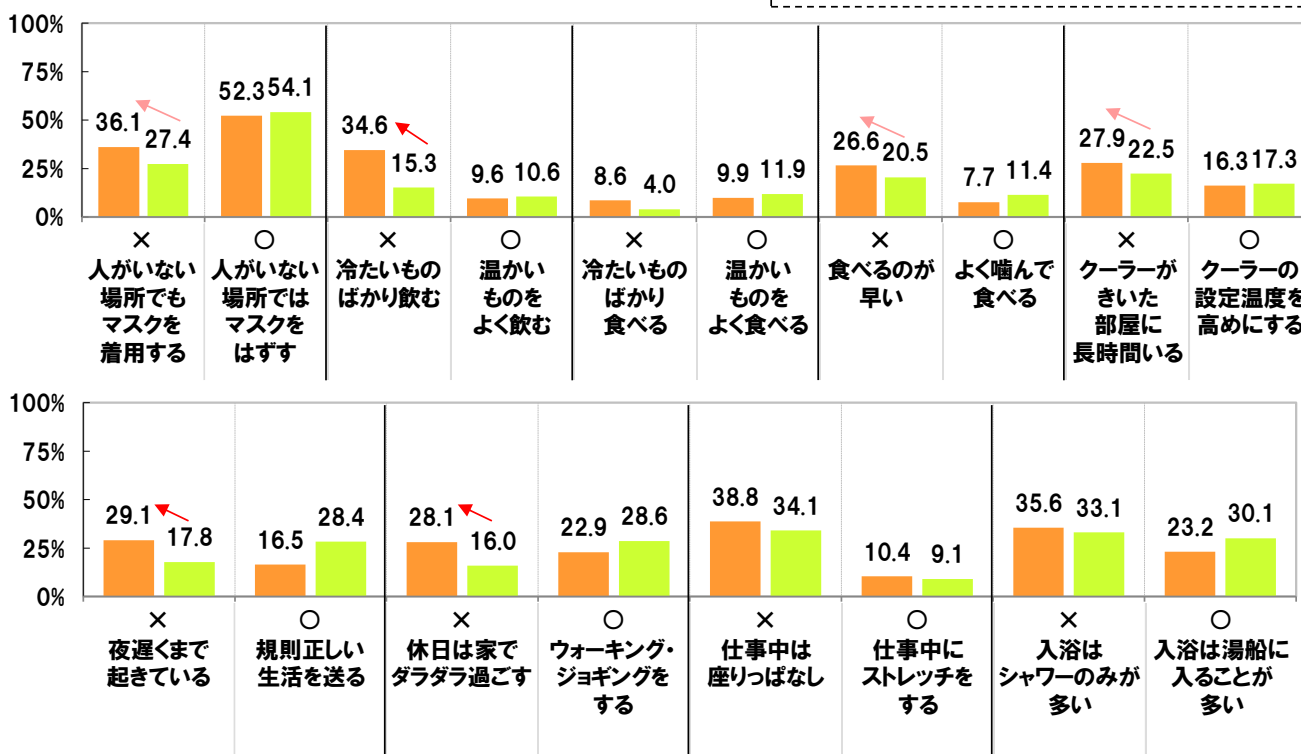
次に、全回答者（1,000名）に、夏バテの予防につながる生活習慣・過ごし方と夏バテにつながる可能性のある生活習慣・過ごし方をいくつか提示し、自身にあてはまるものを選んでもらいました。

夏バテの実感別に結果をみると、夏バテを感じている人では「冷たいものばかり飲む」が34.6%、「夜遅くまで起きている」が29.1%、「休日は家でダラダラ過ごす」が28.1%と、夏バテを感じていない人（順に15.3%、17.8%、16.0%）と比べて10ポイント以上高くなりました。“夏バテさん”ほど、体の冷えや胃腸バテにつながるような食生活や、疲労蓄積・自律神経の乱れにつながるような過ごし方をしていることがわかりました。また、夏バテを感じている人では「人がいない場所でもマスクを着用する」が36.1%、「クーラーがきいた部屋に長時間いる」が27.9%、「食べるのが早い」が26.6%と、夏バテを感じていない人（順に27.4%、22.5%、20.5%）と比べて5ポイント以上高くなりました。“夏バテさん”には、マスク熱中症や体温調整機能低下につながるおそれのある過ごし方や、胃腸に負担のかかる食生活をしている人が多いこともわかりました。

◆**今年の夏の生活としてあてはまるもの〔複数回答形式〕**

■夏バテを感じている人【n=595】 ■夏バテを感じていない人【n=405】

○：夏バテの予防につながる生活習慣・過ごし方
×：夏バテにつながる可能性のある生活習慣・過ごし方



◆夏バテのイライラを倍増させる家族の振る舞い

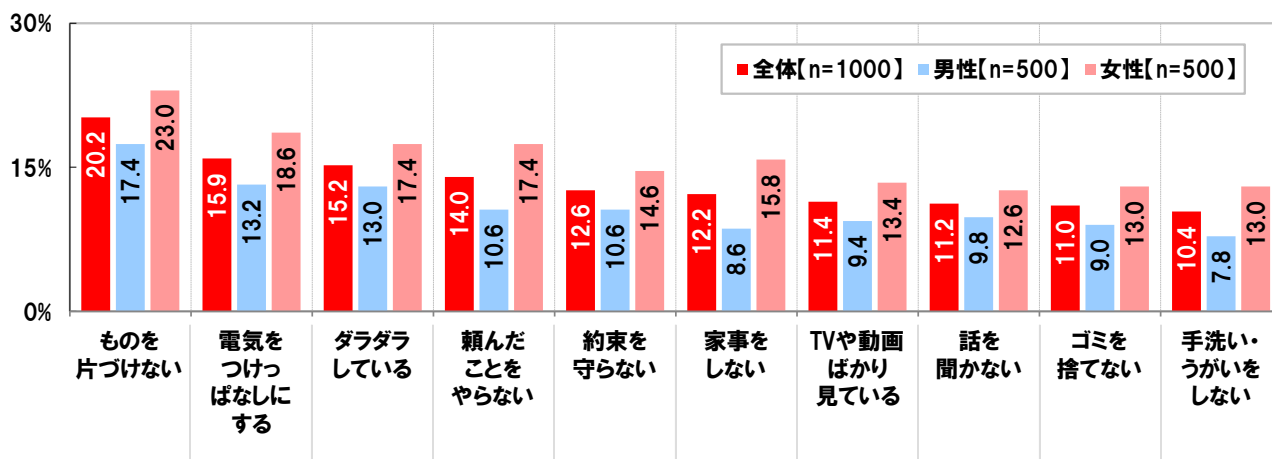
TOP3「ものを片づけない」「電気をつけっぱなしにする」「ダラダラしている」

夏バテの症状として、イライラを感じている人が少なくないことがわかりました。では、どのような周囲の行動がイライラ度を高めてしまうのでしょうか。

全回答者（1,000名）に、夏バテのイライラを倍増させると感じる家族の振る舞いを聞いたところ、「ものを片づけない」（20.2%）が最も高く、次いで、「電気をつけっぱなしにする」（15.9%）、「ダラダラしている」（15.2%）、「頼んだことをやらない」（14.0%）、「約束を守らない」（12.6%）、「家事をしない」（12.2%）、「TVや動画ばかり見ている」（11.4%）となりました。家の中で家族にだらしない行動をされるとイラっとする人が少なくないようです。

男女別にみると、女性では「ものを片づけない」が23.0%、「電気をつけっぱなしにする」が18.6%、「頼んだことをやらない」が17.4%、「家事をしない」が15.8%、「手洗い・うがいをしない」が13.0%と、男性（順に17.4%、13.2%、10.6%、8.6%、7.8%）と比べて5ポイント以上高くなりました。

◆夏バテのイライラを倍増させると感じる家族の振る舞い〔複数回答形式〕 ※上位10位までを抜粋

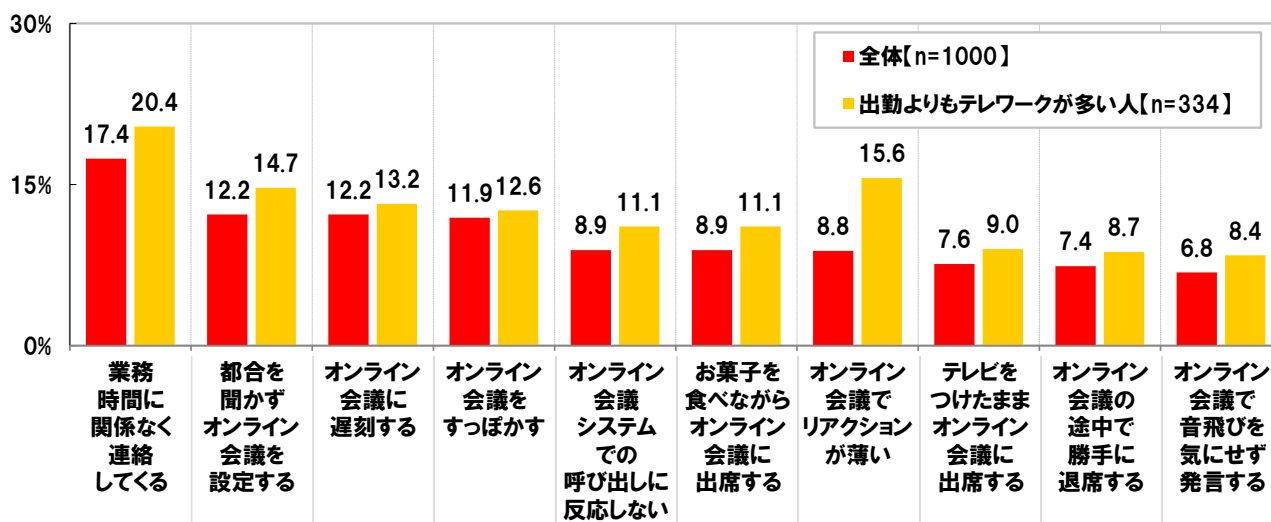


◆夏バテのイライラを倍増させるテレワークでの振る舞い
 TOP3「業務時間問わず連絡」「都合を聞かずオンライン会議設定」「オンライン会議に遅刻」

また、夏バテのイライラを倍増させると思う職場の人のテレワークでの振る舞いを聞いたところ、「業務時間に関係なく連絡してくる」(17.4%)が最も高く、次いで、「都合を聞かずオンライン会議を設定する」「オンライン会議に遅刻する」(いずれも12.2%)となりました。テレワークの際に、配慮のない行動や時間にルーズな行動をされると、イライラが募ると感じる人が多いようです。そのほか、「オンライン会議をすっぽかす」(11.9%)や「オンライン会議システムでの呼び出しに反応しない」「お菓子を食べながらオンライン会議に出席する」(いずれも8.9%)、「オンライン会議でリアクションが薄い」(8.8%)といった振る舞いが上位に挙がりました。

出勤よりもテレワークが多い人(334名)についてみると、「業務時間に関係なく連絡してくる」(20.4%)が最も高く、「オンライン会議でリアクションが薄い」(15.6%)が続きました。テレワーカーには、オンライン会議中に反応が乏しい人に接するとイラっとする感情が高まる人が多いようです。

◆夏バテのイライラを倍増させると思う職場の人のテレワークでの振る舞い〔複数回答形式〕 ※上位10位までを抜粋



◆夏バテだけじゃない！ 今年の夏に流行すると思う“バテ”

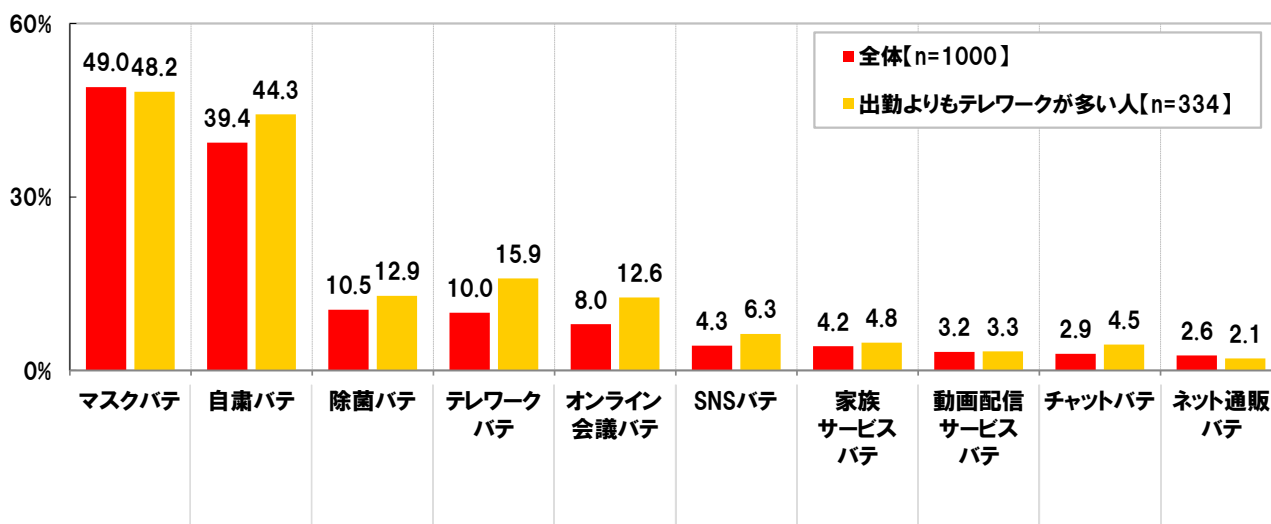
TOP5「マスクバテ」「自粛バテ」「除菌バテ」「テレワークバテ」「オンライン会議バテ」

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症対策が求められる環境下、どのような“バテ”に悩む人の増加を予想するビジネスパーソンが多いのでしょうか。

全回答者（1,000名）に、今年の夏に流行すると思う“バテ”（夏バテを除く）を聞いたところ、「マスクバテ」（49.0%）が最も高くなりました。猛暑でのマスク着用によって、息苦しさや体温上昇を感じたり、疲労でぐったりしたりする人が増えると考えている人が多いようです。以降、「自粛バテ」（39.4%）、「除菌バテ」（10.5%）、「テレワークバテ」（10.0%）、「オンライン会議バテ」（8.0%）と、コロナ禍と関わりの深い“バテ”が上位に挙がりました。

出勤よりもテレワークが多い人（334名）についてみると、「テレワークバテ」（15.9%）が3位となりました。テレワーカーには、テレワーク継続に疲労感を覚える人が増えると予想している人が多いようです。

◆今年の夏に流行すると思う“バテ”（夏バテを除く）[複数回答形式] ※上位10位までを抜粋



◆テレワークをしたい避暑地 「軽井沢」がダントツ、2位「上高地」

全回答者（1,000名）に、テレワークをしたい避暑地を聞いたところ、「軽井沢」がダントツでした。高冷地気候の軽井沢は日本を代表する避暑地の一つとして知られ、毎年夏には多くの人々が涼を求めて足を運ぶことでも有名です。真夏でも猛暑に悩まされることなく仕事に取り組みると感じる人が多いのではないのでしょうか。以降、2位「上高地」、3位「箱根」、4位「那須」、5位「伊豆」が続きました。

出勤よりもテレワークが多い人（334名）についてみると、1位「軽井沢」、2位「上高地」、3位「八ヶ岳」となりました。

◆テレワークをしたい避暑地 [自由回答形式]

※全体の上位10位、テレワークが多い人の上位5位までを抜粋

全体[n=1000]

	避暑地	名
1位	軽井沢	326
2位	上高地	21
3位	箱根	20
4位	那須	16
5位	伊豆	14
6位	八ヶ岳	11
7位	熱海	9
8位	知床	6
	富良野	6
10位	釧路	5

テレワークが多い人[n=334]

	避暑地	名
1位	軽井沢	116
2位	上高地	8
3位	八ヶ岳	6
4位	伊豆	4
	那須	4
	箱根	4
	富良野	4

【東京で働くビジネスパーソンの夏バテ対策】

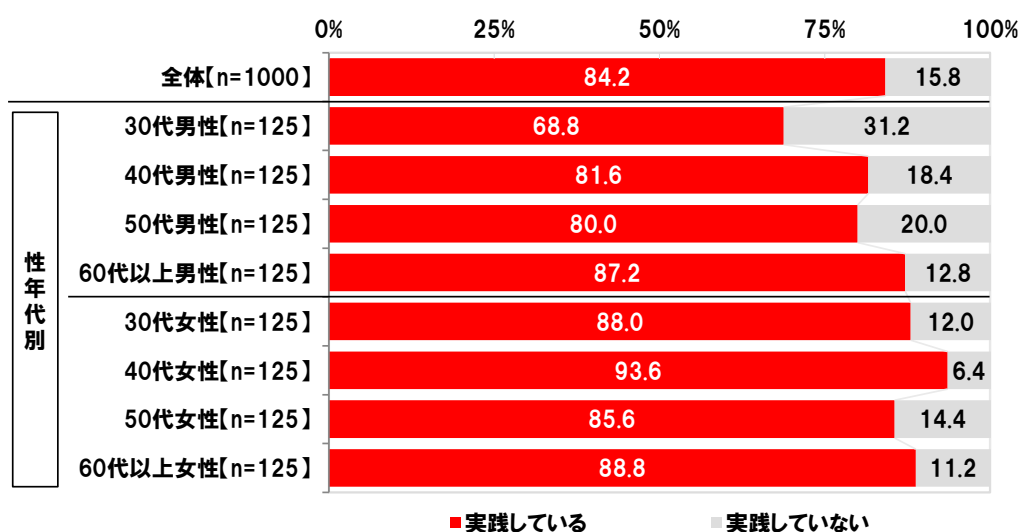
- ◆東京で働くビジネスパーソンの8割半が夏バテ対策に取り組む、60代以上の男女では約9割
- ◆夏バテ対策ランキング TOP3「水分補給」「しっかり睡眠」「エアコン温度を適温にキープ」
60代以上女性は「バランスの良い食事をとる」「夏野菜たっぷりの料理を食べる」も実践中

今年の夏バテ対策について質問しました。

全回答者（1,000名）に、今年の夏バテ対策の状況を聞いたところ、「実践している」は84.2%、「実践していない」は15.8%となりました。東京で働くビジネスパーソンの大多数が、夏バテ対策に取り組んでいるようです。

夏バテ対策を実践している人の割合を性年代別にみると、40代女性（93.6%）が最も高く、次いで、60代以上女性（88.8%）、30代女性（88.0%）、60代以上男性（87.2%）となりました。

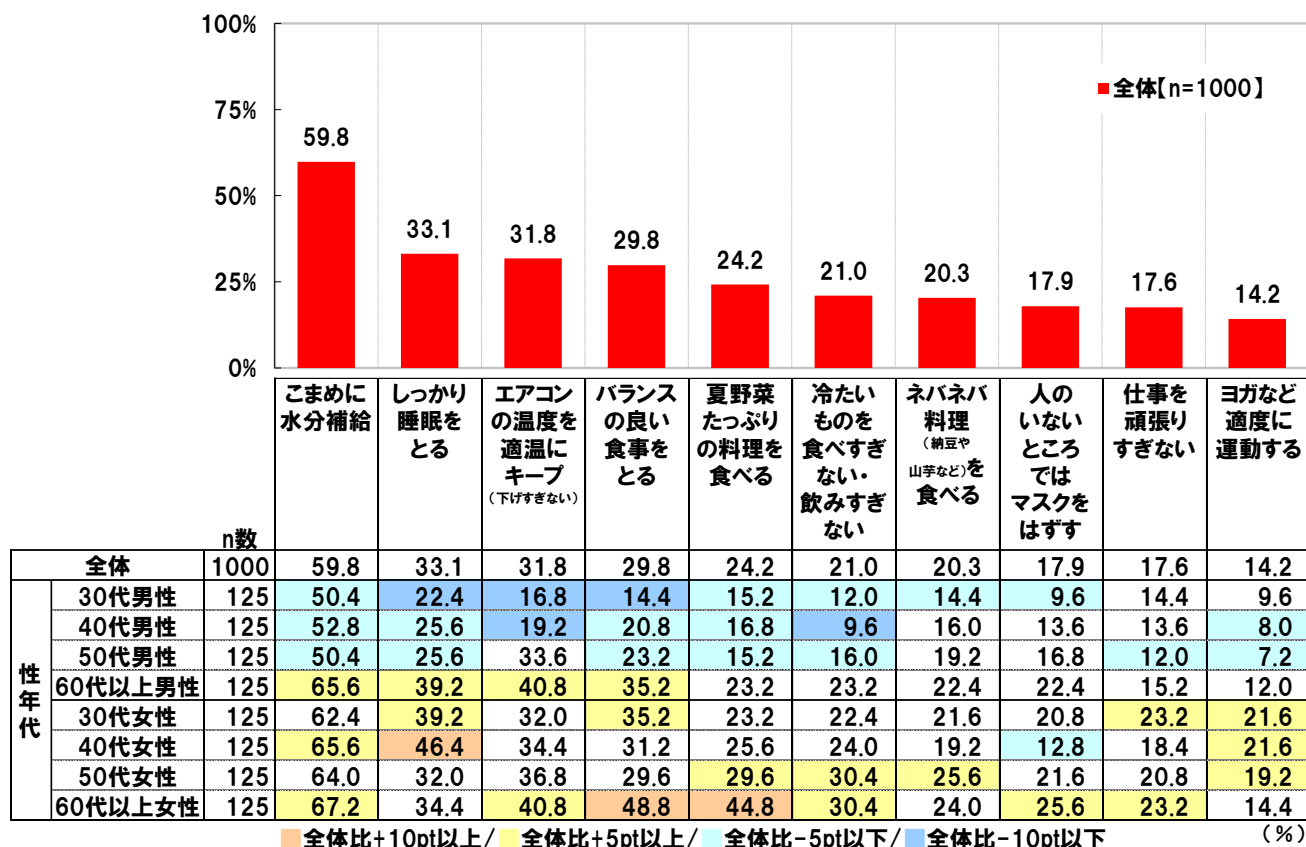
◆今年、夏バテ対策を実践しているか



全回答者（1,000名）に、どのような夏バテ対策を実践しているか聞いたところ、「こまめに水分補給」（59.8%）が突出して高くなりました。夏バテの予防として、脱水症状にならないように日頃からこまめに水分をとることを心がけている人が多いようです。以降、「しっかり睡眠をとる」（33.1%）、「エアコンの温度を適温にキープ（下げすぎない）」（31.8%）、「バランスの良い食事をとる」（29.8%）、「夏野菜たっぷりの料理を食べる」（24.2%）が続きました。

性年代別にみると、60代以上女性では「バランスの良い食事をとる」（48.8%）や「夏野菜たっぷりの料理を食べる」（44.8%）が「こまめに水分補給」（67.2%）に続いて高くなり、半数近くは夏バテ予防を意識した食生活を心がけているという実態が明らかになりました。

◆今年実践している夏バテ対策【複数回答形式】 ※上位10位までを抜粋



◆今年の夏に食べたい“夏バテ解消グルメ”

TOP5「ウナギの蒲焼」「焼肉」「夏野菜のカレー」「冷しゃぶ」「豚の生姜焼き」
50代以上男性では1位「ウナギの蒲焼」、50代以上女性では1位「夏野菜のカレー」

また、夏バテを解消するために食べたい料理について質問しました。

全回答者（1,000名）に、今年の夏に食べたい“夏バテ解消グルメ”を聞いたところ、「ウナギの蒲焼」（41.2%）が最も高く、次いで、「焼肉」（37.5%）、「夏野菜のカレー」（37.0%）、「冷しゃぶ」（30.3%）、「豚の生姜焼き」（29.1%）となりました。疲労回復や夏バテ予防が期待できそうな、ウナギや豚肉などビタミンB1を含む食材を使った料理が上位に多く挙がりました。

◆今年の夏に食べたい“夏バテ解消グルメ” [複数回答形式] ※上位10位までを抜粋

	全体【n=1000】	%
1位	ウナギの蒲焼	41.2
2位	焼肉	37.5
3位	夏野菜のカレー	37.0
4位	冷しゃぶ	30.3
5位	豚の生姜焼き	29.1
6位	豚キムチ	25.7
7位	担々麺	25.6
8位	冷麺	24.0
9位	レバニラ炒め	22.8
10位	具だくさんそうめん	22.4

性年代別にみると、男性については、30代では「焼肉」（29.6%）が1位、「冷しゃぶ」（26.4%）が2位となつたのに対し、40代以上では「ウナギの蒲焼」（40代48.0%、50代54.4%、60代以上60.0%）が1位、「焼肉」（40代39.2%、50代40.8%、60代以上44.8%）が2位と、30代と40代以上で世代差がはっきりとあらわれました。

他方、女性については、30代では「焼肉」（41.6%）が1位、「冷しゃぶ」（38.4%）が2位、「冷麺」（37.6%）が3位、40代では「ウナギの蒲焼」と「夏野菜のカレー」（いずれも36.8%）が同率1位、「担々麺」（32.0%）が他の層より高く4位、50代では「夏野菜のカレー」（51.2%）がダントツ、「焼肉」（37.6%）が2位、60代以上女性では「夏野菜のカレー」（45.6%）が1位、「ウナギの蒲焼」（44.8%）が2位、「夏野菜のパスタ」（33.6%）が3位となりました。

◆【性年代別】今年の夏に食べたい“夏バテ解消グルメ” [複数回答形式] ※上位5位までを抜粋

30代男性【n=125】			40代男性【n=125】			50代男性【n=125】			60代以上男性【n=125】		
		%			%			%			%
1位	焼肉	29.6	1位	ウナギの蒲焼	48.0	1位	ウナギの蒲焼	54.4	1位	ウナギの蒲焼	60.0
2位	冷しゃぶ	26.4	2位	焼肉	39.2	2位	焼肉	40.8	2位	焼肉	44.8
3位	夏野菜のカレー	24.8	3位	夏野菜のカレー	32.8	3位	夏野菜のカレー	32.8	3位	レバニラ炒め	43.2
4位	ウナギの蒲焼	24.0	4位	豚キムチ	32.0	4位	豚の生姜焼き	29.6	4位	夏野菜のカレー	35.2
5位	担々麺	19.2	5位	冷しゃぶ	31.2	5位	冷しゃぶ	26.4		豚の生姜焼き	35.2

30代女性【n=125】			40代女性【n=125】			50代女性【n=125】			60代以上女性【n=125】		
		%			%			%			%
1位	焼肉	41.6	1位	ウナギの蒲焼	36.8	1位	夏野菜のカレー	51.2	1位	夏野菜のカレー	45.6
2位	冷しゃぶ	38.4		夏野菜のカレー	36.8	2位	焼肉	37.6	2位	ウナギの蒲焼	44.8
3位	冷麺	37.6	3位	焼肉	35.2	3位	ウナギの蒲焼	34.4	3位	夏野菜のパスタ	33.6
4位	夏野菜のカレー	36.8	4位	冷しゃぶ	32.0		豚の生姜焼き	34.4	4位	冷しゃぶ	32.8
5位	豚の生姜焼き	32.0	5位	担々麺	32.0	5位	冷しゃぶ	33.6		冷麺	32.0
									5位	具だくさんそうめん	32.0

【夏バテとエンタメ】

◆夏バテ解消料理を作ってほしい！

男性芸能人1位「速水もこみちさん」、女性芸能人1位「平野レミさん」

◆夏バテを知略で乗り越えそうな戦国武将 TOP2「信長」「家康」、上位に真田昌幸・信繁親子

最後に、“夏バテ”をテーマに、イメージに合う芸能人・戦国武将・アニメや漫画について質問しました。

全回答者（1,000名）に、夏バテ解消料理を作ってほしい芸能人を聞いたところ、男性芸能人ではYouTubeの公式チャンネルで自慢のアレンジ料理を披露している「速水もこみちさん」がダントツ、2位「タモリさん」、3位「木村拓哉さん」となりました。

他方、女性芸能人ではメディアで夏バテ解消料理を多数紹介している「平野レミさん」が1位となり、2位「新垣結衣さん」、3位「綾瀬はるかさん」となりました。

◆夏バテ解消料理を作ってほしい芸能人 [各自由回答形式] ※各上位10位までを抜粋
全体[n=1000]

男性芸能人			女性芸能人		
順位	名前	名	順位	名前	名
1位	速水もこみち	97	1位	平野レミ	27
2位	タモリ	15	2位	新垣結衣	21
3位	木村拓哉	12	3位	綾瀬はるか	15
4位	馬場裕之	9		滝沢カレン	12
5位	横浜流星	6	4位	北川景子	12
	大泉洋	6		和田明日香	12
7位	向井理	5	7位	深田恭子	9
	佐藤健	5	8位	ギャル曽根	6
	相葉雅紀	5		石田ゆり子	6
	中村倫也	5	10位	吉岡里帆 / 有村架純 / 広瀬すず	5

また、夏バテを知略で乗り越えると思う戦国武将を聞いたところ、「織田信長」がダントツ、2位は2023年のNHK大河ドラマ『どうする家康』で松本潤さんが演じる「徳川家康」となりました。以降、3位「豊臣秀吉」、4位「武田信玄」、5位「伊達政宗」が続きました。そのほか、2016年のNHK大河ドラマ『真田丸』で堺雅人さんが演じた「真田信繁（幸村）」が9位、草刈正雄さんの好演が話題になった、信繁の父「真田昌幸」が13位に挙がりました。

◆夏バテを知略で乗り越えと思う戦国武将 [自由回答形式]
※上位15位までを抜粋
全体[n=1000]

順位	戦国武将	名	順位	戦国武将	名
1位	織田信長	170	9位	真田信繁(幸村)	11
2位	徳川家康	84	10位	毛利元就	9
3位	豊臣秀吉	58	11位	石田三成	8
4位	武田信玄	55	12位	竹中半兵衛	7
5位	伊達政宗	28		加藤清正	5
6位	上杉謙信	25	13位	真田昌幸	5
7位	黒田官兵衛	20	15位	直江兼続	4
8位	明智光秀	18			

◆夏バテを忘れるくらいハマった昭和のアニメ・漫画

1位「ドラゴンボール」2位「巨人の星」3位「機動戦士ガンダム」

◆夏バテを忘れるくらいハマった平成・令和のアニメ・漫画

1位「鬼滅の刃」2位「ONE PIECE」3位「名探偵コナン」

全回答者（1,000名）に、夏バテを忘れるくらいハマったアニメ・漫画を聞きました。

【昭和のアニメ・漫画】では、1位「ドラゴンボール」、2位「巨人の星」、3位「機動戦士ガンダム」、4位「タッチ」、5位「ドラえもん」と、昭和のヒット作が上位に多く挙がりました。孫悟空や星飛雄馬、アムロ・レイといった主人公が強敵と熱い戦いを繰り広げるシーンなどに、夏の暑さが気にならないくらい夢中になったという人が多いのではないのでしょうか。

年代別にみると、30代と40代では「ドラゴンボール」、50代では「宇宙戦艦ヤマト」と壮大な宇宙を舞台にした作品がトップとなり、60代以上では「巨人の星」と“スポ根”作品がトップとなりました。

◆夏バテを忘れるくらいハマった昭和のアニメ・漫画 [自由回答形式]

※全体の上位10位、年代別の上位3位までを抜粋

全体[n=1000]			30代[n=250]			40代[n=250]		
順位	作品名	名	順位	作品名	名	順位	作品名	名
1位	ドラゴンボール	49	1位	ドラゴンボール	29	1位	ドラゴンボール	17
2位	巨人の星	34	2位	ドラえもん	8	2位	機動戦士ガンダム	14
3位	機動戦士ガンダム	28	3位	タッチ	6	3位	タッチ	9
4位	タッチ	25		ちびまる子ちゃん	6		北斗の拳	9
5位	ドラえもん	22						
6位	北斗の拳	17	50代[n=250]			60代以上[n=250]		
7位	あしたのジョー	16	1位	宇宙戦艦ヤマト	10	1位	巨人の星	23
	サザエさん	16	2位	機動戦士ガンダム	9	2位	あしたのジョー	10
9位	宇宙戦艦ヤマト	14	3位	エースをねらえ!	8		鉄腕アトム	10
10位	エースをねらえ!	11						
	ルパン三世	11						

他方、【平成・令和のアニメ・漫画】では、「鬼滅の刃」がダントツでした。主人公・竈門炭治郎をはじめとした鬼殺隊員と鬼たちとの手に汗握る戦いに、夏バテしていることを忘れるくらい没頭したという人が多いのではないのでしょうか。以降、2位「ONE PIECE」、3位「名探偵コナン」、4位「ドラゴンボール」、5位「新世紀エヴァンゲリオン」が続きました。

年代別にみると、いずれの年代でも「鬼滅の刃」が1位となったほか、「ONE PIECE」がTOP3に挙がりました。

◆夏バテを忘れるくらいハマった平成・令和のアニメ・漫画 [自由回答形式]

※全体の上位10位、年代別の上位3位までを抜粋

全体[n=1000]			30代[n=250]			40代[n=250]		
順位	作品名	名	順位	作品名	名	順位	作品名	名
1位	鬼滅の刃	70	1位	鬼滅の刃	19	1位	鬼滅の刃	17
2位	ONE PIECE	38	2位	ONE PIECE	17	2位	ONE PIECE	10
3位	名探偵コナン	27	3位	SLAM DUNK	9	3位	キングダム	5
4位	ドラゴンボール	17					名探偵コナン	5
5位	新世紀エヴァンゲリオン	16						
6位	SLAM DUNK	13	50代[n=250]			60代以上[n=250]		
7位	キングダム	12	1位	鬼滅の刃	15	1位	鬼滅の刃	19
8位	進撃の巨人	9	2位	名探偵コナン	8	2位	名探偵コナン	8
9位	クレヨンしんちゃん	7	3位	ONE PIECE	7	3位	ONE PIECE	4
10位	ドラえもん	6					ドラえもん	4
	メジャー	6					新世紀エヴァンゲリオン	4
	るろうに剣心	6						
	呪術廻戦	6						

◆調査概要◆

- ◆調査タイトル : 東京で働くビジネスパーソンの夏バテに関する調査2021
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
一都三県在住で、東京都で働く30歳以上のビジネスパーソン
ビジネスパーソン: 会社員、派遣社員・契約社員、会社役員・経営者、
専門職、公務員・団体職員
- ◆調査期間 : 2021年6月25日～6月30日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 一都三県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル
(有効回答から、性別・世代が均等になるように1,000サンプルを抽出)

	30代	40代	50代	60代以上
男性	125s	125s	125s	125s
女性	125s	125s	125s	125s

- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「養命酒製造株式会社調べ」と付記のうえ
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

養命酒製造株式会社 マーケティング部
〒150-8563 東京都渋谷区南平台町 16-25
TEL : 03-3462-8338

■■会社概要■■

代表者名 : 代表取締役社長 塩澤太郎
設立 : 大正 12 (1923) 年 6 月 20 日
所在地 : 東京都渋谷区南平台町 16-25
業務内容 : 養命酒の製造販売等

- ◆ 会社および製品の詳細は <https://www.yomeishu.co.jp/> をご覧ください。